


**期間** 令和3年 10月25日(月)～11月29日(月) [全5回]

**実施場所** 九州国際大学地域連携センター(サテライトキャンパス)  
 〒806-0021 八幡西区黒崎3-15-3 コムシティ2階

**申込・問合せ先** 九州国際大学地域連携センター  
 〒806-0021 八幡西区黒崎3-15-3  
 TEL: 631-2203 FAX: 631-2204

**時間** 18:30～20:30

申込締切

**10月7日(木)**

 スマートフォンからも  
 お申込みできます▶

**定員** 20名

**受講料** 4,000円

 受講生への  
 メッセージ

実施機関：九州国際大学 地域連携センター

行政による防災施策(公助)に限界があることを受け、共助としての防災にかかる理解が進んできました。一方、地区防災計画やその運営主体としての地域防災組織について、実効性が伴わないことを指摘する声は少なくありません。

本講座では、防災は地域住民こそが主体であることを大前提として、災害時には地域住民の「命綱」ともなる地域の防災計画と一緒に考えたいと思います。

回数	月日	テーマ・内容	担当講師
1	10/25 (月)	<b>◆北九州市の防災の現状</b> まず国内における災害の発生とその被害の状況について確認します。その後、北九州市の防災対応の現状を、区ごとに作成された防災ガイドに従って見ていきます。	九州国際大学 現代ビジネス学部 教授 <b>村上 真理</b>  広島県出身。広島大学大学院マネジメント専攻博士課程修了。マネジメント博士。専門分野はマーケティング論・地域金融論・協同組合論。講義の傍ら、学内では「地域防災リーダー育成プロジェクト」の顧問を務める。
2	11/1 (月)	<b>◆DIGによるセルフ・チェック</b> DIGとは災害図上訓練のことです。まず自室や自宅という生活の最小領域で、危険を洗い出します。そして自宅周辺に範囲を広げながら、災害タイプ別にリスクを検討します。	
3	11/8 (月)	<b>◆防災ニーズへの対応</b> DIGでリスクを特定したら、次はいかにそれを回避するかです。但し、人それぞれ事情が違うので方法も様々ではありません。ここでは在宅避難を例に防災ニーズについて考えます。	
4	11/22 (月)	<b>◆地域コミュニティの役割</b> どうすれば防災力が高まるのか?ここでは個人の対応を地域での対応に拡大していきながら、コミュニティという視点で、防災力強化について議論していきましょう。	
5	11/29 (月)	<b>◆防災計画の作成</b> 自分ならどうするか…、地域ならどうすべきか…。ここでは地域住民こそが主体であることを前提として、いざというとき役に立つ防災計画を皆さん一緒に作りませんか。	

スポット受講

詳細は2ページ

料金

1,000円/回

1回限り